

千葉商大
同窓会
鳥取県支部報

2022年(令和4)年8月1日
第23号
千葉商大同窓会鳥取県支部
支部長 森尾邦夫
事務局 〒683-0051 米子市勝田町16
TEL 0859-33-7002
cuc-tottori.com



コロナ禍の時
支部長 森尾邦夫

令和四年の参議院選挙が終わり、鳥取県では過去最低の投票率で終わりました。二日前には、安倍元首相が銃撃されて死亡する事件が起きたにもかかわらず、選挙に関心が向かなかつたのかと考えます。コロナ禍ばかりではなく、ロシアによる他国侵攻、中国による海洋支配、記録的円安、エネルギー危機、食糧輸入問題などによって日本経済は混迷を深めている最中の選挙で、地方や自分達の未来に意思表示をしなかったのかと情けなく思います。

今年度も、新型コロナウイルスが変異株などで収まりません。県内では感染者が、過去最多を更新するなどしています。ひと頃と比べるとあまりにも多くて、危機感が薄れてきたような気がします。しかし、持病などを抱えている私などの高齢者は注意が必要です。やむなく今年度も支部定期総会を中止して、書面での総会に代えますので、よろしくお願い申し上げます。

千葉商科大学第三代学長 石井頼三先生は、八頭郡出身で我々の誇りとするところですが、他にも鳥取県には米子市出身の経済学者 宇沢弘文という二〇一四年に亡くなられた元東大教授がいました。最近その著作を読んでみましたら、大変共感するところがありました。したので紹介したいと思います。宇沢弘文は、多くの方がご存知でしょうが、一時期ノーベル賞候補にもなった経済学者です。その研

究の集大成として、まとめた理論が「社会的共通資本」です。それは、豊かな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、魅力ある社会を持続的、安定的に維持する事を可能とする社会的装置を言います。

「社会的共通資本」とは、自然環境、社会的インフラストラクチャー、制度資本です。

自然環境は、大気、水、森林、河川、湖沼、海洋、土壌など、社会的インストラクチャーは、道路、交通機関、上下水道、エネルギーなど、制度資本は、教育、医療、

金融、司法、行政など、の内容を言います。

この様な要素は、一人ひとりが最大限に享受できる不可欠なもので、市場的基準や官僚的基準によって支配、管理されてはならない、とするものであるという内容です。

このことは、現在盛んに言われている「SDGs」(持続可能な開発目標)の考え方ではないかと考えます。商大が今取り組んでいるSDGs事業の数々は、こういう意味でも素晴らしい、意義のあることだと応援したいと思います。

人生暇はある

顧問 渡辺紀雄

昨年(令和三年)千葉商科大学卒業五十年を迎えました。

社会人としての半世紀を振り返ってみれば、大半が仕事と仕事からみの多忙な生活の日々の積み重ねであったと思います。勿論そのことに後悔はなく精一杯生きて来た五十年間でした。

そして後期高齢者に王手となったこれからの人生、健康寿命がどれくらい残されているか解からないが、何か、やりがいを見つけて挑戦しようかと昨年末に考えついた答え。

コロナ禍であっても、天気が悪くても、一人だけでもやれる「川柳」の句作り。作句しながら自分の人生の過去、現在、未来を見つめながら、たのしむ事に決めました。

令和四年の年明けから、「日本海新聞」と「鳥取医療生協しんぶん」に投稿を始めたところ。ピギナーズラックにも恵まれて入選の掲載句が、少しばかり出来たところ、寄稿の機会を得ましたので、若さを保つ（三つのかく）、「汗をかく」「字をかく」「恥をかく」を一度に体感させて頂きます。ありがとうございました。

（日本海柳壇）柳名 渡辺杉武
GOTOの旅にまぎれて悪たくみ音沙汰の無いのが達者とは言えぬ我が道の地図を知るのは背中だけ同じこと何度でも言う届くまで朝曲げたへそが一日駄々こねる

（せいきょう川柳）渡辺 紀男
GOTOは不要不急だまだ早い何故急ぐ昔はゆっくり歩いてた雲天の私を誰か笑わせて
女子会は茶菓子かわりにネタ持参

コロナ禍が続いていますが同窓会会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

鳥取県支部 令和3年度 第23回定期総会議案書

第一号議案

令和二年度 事業報告書承認の件

令和二年度 事業報告書

令和二年四月 一日から
令和三年三月三十一日まで
事業活動は行いませんでした。

第二号議案

令和三年度 事業計画承認の件

令和三年度事業計画案

令和三年四月 一日から
令和四年三月三十一日まで

一、支部報の発行

第二十二号（十一月一日）

二、全国支部長会・ブロック会議

令和四年二月

三、役員会

四半期（三か月）毎の開催を期す

第五号議案

役員改選の件

千葉商科大学同窓会鳥取県支部役員改選案

役 職	氏 名	卒業年度
支 部 長	森 尾 邦 夫	昭和48
顧 問	渡 辺 紀 雄	昭和46
副 支 部 長（県東部担当）	谷 口 博	昭和49
副 支 部 長（県中部担当）	油 井 弘 行	昭和58
副 支 部 長（県西部担当）	池 淵 長	昭和46
幹 事 長 兼 総 務 担 当	岡 本 茂	昭和50
幹 事（県東部担当）	長 尾 範 通	昭和49
幹 事（県西部担当）	徳 岡 修 一	平成 5
幹 事	柴 田 光 美	昭和58
同	濱 田 明 浩	平成 4
同	遠 藤 章 浩	平成 7
会 計 監 査	今 出 上	昭和52
同	足 立 秀 憲	昭和59

四、会員の拡大

定期総会の出欠の返信者へのフォローをして参加を促す

五、支部の広報

支部HPに、他支部の企業情報を掲載する努力を行う。

千葉商科大学では、建学の理念に基づく本学の事業活動において、SDGsへの取り組み方針を学内外に共有・公表することにより、社会的責任を果たす際の指針とすることを目的に「千葉商科大学SDGs行動憲章」を策定しました。

千葉商科大学 SDGs 行動憲章

千葉商科大学は、その教育研究及び事業活動において、国連が提唱する国際的な枠組みであるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する行動を推進します。

(組織統治)

一、ESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した大学運営を推進します。

(教育・研究)

二、世界の諸課題を解決し未来を創造するため、「高い倫理観」「幅広い教養」「専門的な知識・技能」を有する人物「治道家」を輩出するための教育並びに学術研究を推進し、高等教育機関としての責務を果たします。

(人権)

三、学生・教職員一人ひとりの個性や異なる価値観を受け入れ、

相互理解を推進し、各自の能力を十分に発揮できる環境を整えます。

(環境・エネルギー)

四、地球環境問題を全世界共通の課題と捉え、環境負荷低減に学生・教職員が一丸となって取り組みます。

特に地球温暖化対策という人類の重要課題に対する環境目標として「自然エネルギー100%大学」を実現するとともに、これを社会に広げて行きます。

(防災・地域発展)

五、地域社会と連携し、地域の継続的發展および安全・安心なまちづくりを推進します。

SDGsとは、二〇〇一年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、二〇一五年九月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための二〇三〇アジェンダ」にて記載された二〇三〇年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。持続可能な世界を実現するための一七のゴール・一六九のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

千葉商科大学のSDGsへの取り組み(本学HPより)

二〇二二年七月七日

本学の自然エネルギー100%大学の取り組みが、International Green Gown Awards 2022を受賞!

本学の自然エネルギー100%の取り組みは、学生・教員・職員が一丸となり、照明のLED化やエネルギーマネジメントシステム(EMS)を構成する各種機器な

どのハードウェアの整備、EMSを利用したエネルギー消費量分析などのソフトウェアの整備と運用、そして、ハードとソフトを連携し省エネの効率や効果を高め、環境を配慮した具体的行動につながる意識をイベント等を通じて全学的に推進するハートウェアの形成に求め、さまざまな省エネ活動を実施した結果、二〇一九年一月には発電量が消費電力量を上回り、電力生産での自然エネルギー率100%を達成しました。

千葉商科大学同窓会情報誌『きずな』(令和四年二月二十八日発行)

支部からの報告より

森尾 邦夫

今年度もコロナ禍の中で支部の活動は何もできず、間隙を見て少数の役員との打ち合わせができた程度でした。来年度は良い方向になるように願っています。昨今の歴史ブームがあります。鳥取県でも重大な発掘調査があり、弥生人の脳や飛鳥時代の仏教寺院壁画の発見など全国ニュースが続きました。私が住んでいる米子市でも、六キロ四方のエリアに縄文時代から近代までの遺跡が

集中している地域があり、半径一キロ以内に国指定遺跡が四つもあります。全国的にもかなり稀な密度と言われています。

そんな環境にあるので毎月一、二回から多い時で四回程度の講演会や調査報告会があります。今年生まれた孫にも会いに行けない、旅行にも行けない中でそれらの講演などに出かける楽しみを見つけました。地元の講師、学芸員や各地の講師から直接やオンラインでの講演を聞き、学生気分浸っています。今後普通に行き来ができるようになれば、各地の遺跡、博物館など訪ねてみようと思っております。